脳神経外科プログラム

【研修目標】

脳神経外科での臨床研修の目標は、日本脳神経外科学会認定の専門医の取得です。専門医試験の受験資格を取得するために、2 年間の卒後臨床研修の後（卒後 3 年目以降）に日本脳神経外科学会認定の専門医の下での 4 年以上の研修が必要で、この間で少なくとも 3 年以上は脳神経外科臨床に専従しなければなりません。日本脳神経外科学会では、臨床研修での研修記録及び研修到達目標を記入する研修記録帳が指定されています。専門医試験を受験する際には、この研修記録帳を専門医認定委員会に提出する必要があります。臨床研修では、脳腫瘍 30 例以上、脳血管障害 40 例以上、外傷 20 例以上、脊髄脊椎疾患 10 例以上、小児疾患 5 例、機能脳神経外科症例 5 例、リハビリなどその他 10 例以上の治療を経験する事が目標となります。

【レジデント（卒後 3 年目）カリキュラム】

兵庫医科大学脳神経外科で研修を行います。上級の主治医（専門医）と共に平均 10 人前後の患者を受け持ち、脳神経外科の主要疾患に関する診療技術と知識を学びます。原則として 3 か月毎に、下垂体腺腫等の良性脳腫瘍・膠腫等の悪性腫瘍・外傷と先天奇形・ＳＣＵ対象疾患を集中的に受け持ちます。年間で脳腫瘍 20 例以上、外傷・血管障害それぞれ 10 例以上、先天奇形・機能外科手術それぞれ 5 例以上を経験する事を目標にします。

【レジデント A（卒後 3 年目）の他部署研修について】

総合診療能力のスキルアップのため、神経内科、麻酔科・疼痛制御科、ＩＣＵ、リハビリテーション部のいずれかで、希望により 3 ヶ月間研修を行うことができます。

【レジデント（卒後 4～5 年目）カリキュラム】

卒後 4 年目より原則として 1 年が関連病院で、1 年が大学病院での研修となります。関連病院では専門医の下で、救急医療を通じ特に頭部外傷や血管障害等の緊急疾患について、知識を深め診療技術を取得します。関連病院では年間で、外傷・血管障害それぞれ 20 例以上の手術を経験します。また大学病院の研修では、腫瘍・ＳＣＵの症例を中心に経験を重ねます。

【カンファレンス・症例検討会等】

症例検討カンファレンス：月～金　8：00～8：30
教授回診：火・金　8：30～9：00
脳卒中カンファレンス：月・水　8：00～8：30
神経内科とのニューロカンファレンス：第 3 または第 4 木曜　18：00～

【関連病院】

三田市民病院、千船病院、近畿中央病院、シミズ病院、合志病院、尼崎中央病院、吉田病院
神戸徳洲会病院、近藤病院、大阪回生病院、安藤病院

【指導医】

主任教授：吉村　紳一（指導責任者）
講　師：友金　祐介　　臨床講師：宮地　由樹

助　教：陰山　博人　　助　教：白川　学　　助　教：内田　和孝
助　教：斎藤　新　　助　教：田中　康恵　　助　教：進藤　誠悟
助　教：立林　洸太朗

【研修統括者】

助　教：内田　和孝

【問い合わせ先】

脳神経外科：内田　和孝
TEL：0798-45-6458
E-mail：kuchidans@yahoo.co.jp